



主要な農作物の生育情報

令和元年度 第3号

(令和元年6月10日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

6月4日現在の農業総合センターの生育調査では、本部（郡山）と浜地域研究所（相馬）の茎数が多く、会津地域研究所（会津坂下）の茎数が少なくなっています。コシヒカリの主稈葉数からみた生育は、本部（郡山）で平年並み、会津地域研究所（会津坂下）で平年より2日遅れ、浜地域研究所（相馬）で平年より5日早まっています。

表1 水稲の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	6月4日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
本 部	コシヒカリ	5.15	26.1 (106%)	227 (128%)	5.5 (0.0)	- (-)
	ひとめぼれ	5.15	21.8 (96%)	245 (123%)	5.9 (0.2)	- (-)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	29.0 (109%)	119 (77%)	5.6 (-0.3)	30.2 (0.6)
	ひとめぼれ	5.20	26.2 (103%)	141 (80%)	5.7 (-0.2)	32.7 (1.0)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	28.5 (101%)	347 (133%)	6.5 (0.7)	39.0 (4.3)
	ひとめぼれ	5.10	31.7 (121%)	416 (146%)	6.5 (0.5)	43.4 (5.2)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。
() 内の数字は、平年比較値を示す。

2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の出穂期は、平年並み～やや早くなりました（平年差－5日から±0日）。登熟は順調に進んでいます。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県中地方では定植が平年並の5月中旬から行われ、概ね平年並に生育しています。多くのほ場では、6月中下旬から収穫が始まる見込みです。

2 トマト

収穫は4月中旬定植の作型で平年並の6月上旬から開始しています。5月上旬定植の作型では、果実肥大は概ね良好で、6月中旬からの見込みとなっています。

南会津地方では、共同育苗の播種が平年並の4月上旬に行われ、定植は6月上旬から行われています。

3 さやいんげん

播種は平年並の4月中下旬に、定植は平年並の5月中下旬にかけて行われました。概ね順調に生育しており、6月中旬から収穫が始まる見込みです。

4 ピーマン

トンネル栽培の作型は、平年並の4月下旬頃から5月上旬にかけて定植され、収穫は平年並の6月上旬から始まりました。露地栽培は、5月中旬から下旬にかけて定植され、順調に生育しています。

5 春ブロッコリー

県南地方では、露地栽培は平年並の3月中旬以降に開始し順調に生育しており、平年並の6月上旬に収穫ピークをむかえています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月5日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が39.1mmで平年比119%、側径が32.1mmで平年比124%と平年より大きく、「ゆうぞら」は縦径が39.6mmで平年比116%、側径が31.3mmで平年比125%と平年より大きい状況です。

生育日数による比較でも、「あかつき」、「ゆうぞら」ともに平年より大きい状況です。

また、「あかつき」の今年の硬核期開始日は6月5日で平年より5日早くなりました。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が24.2mmで平年比117%、横径が27.6mmで平年比121%と平年より大きく、「豊水」は縦径が26.2mmで平年比116%、横径が27.8mmで平年比122%と平年より大きい状況です。

生育日数による比較では、「幸水」はほぼ平年並、「豊水」は平年よりやや小さい状況です。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が35.1mmで平年比123%、横径が33.6mmで平年比117%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が30.2mmで平年比112%、横径が26.5mmで平年比109%と平年より大きい状況です。

生育日数による比較でも、「つがる」、「ふじ」ともに平年より大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

8月咲きの定植は平年並の4月下旬に、9月咲きの定植は平年並の5月中旬から下旬にかけて行われ、摘心等の作業についても概ね順調に進んでいます。生育については草丈、葉数ともにほぼ平年並です。

病害虫は、苗からの持ち込みにより白さび病の発生が散見されますが、被害の拡大は概ね抑えられています。また、アブラムシ類やハモグリバエ類、アザミウマ類の発生が増えてきています。

2 リンドウ

4月の低温による生育の遅れは5月の気温上昇により回復し、草丈、節数ともにほぼ平年並みです。

病害虫では、葉枯病の発生が散見されますが、拡大は抑えられています。リンドウホソハマキやアザミウマ類、ハダニ類の発生が増えてきています。

【飼料作物】

牧草は5月の気温上昇と降雨により、順調に生育しています。5月下旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。収量は平年並、品質は天候に恵まれ良好となる見込みです。

飼料用トウモロコシは5月までに播種作業が終わり、順調に生育しています。

© 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>